



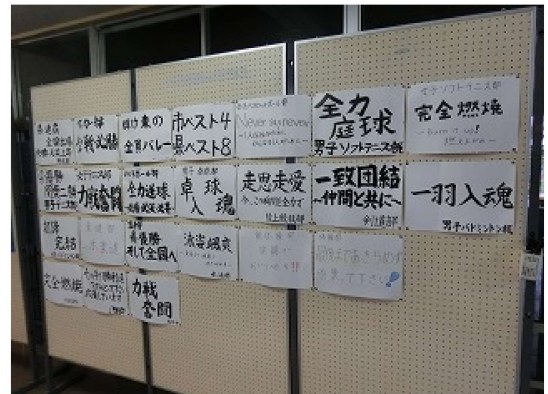
1, 2年生の活躍

気がつくといふ肌寒くなっていて、秋というより冬の訪れを感じます。こういった頃になると、学校生活は次年度に向けて大きく変化します。3年生は進路決定へと向かい、学校の表舞台では1, 2年生が活躍するようになります。

10月9日(金),10日(土)、市内各会場で甲府市新人体育大会が行われました。天候により、日程の変更を余儀なくされたところもありましたが、先生方と生徒が協力して感染症対策を行い、無事大会を行うことができました。保護者の皆さんの観戦にご遠慮願いましたが、ご協力のおかげでスムーズな大会運営となりました。

各会場で、礼儀やマナーも含め、本校の生徒が活躍してくれました。そんな姿を見ながら、大会前の7日(水)に、全校ではできないので、2学年で行った壮行会での、「想い」を受けとめ合うあたたかい雰囲気と、どの部も決意表明の言葉の中に「感染症対策をしっかりと行い」と言っていたことを思い出しました。

生徒が活躍する場を守っていくことは大切なことです。そこには、様々な方の「想い」があります。今回の大会を実施することができたのも、県総体を行うことができた実績があるからであり、本校の1, 2年生も、先輩や先生方、保護者の皆さんがその実施のために努力する姿を見ていました。だからこそ、生徒自身に大会を守ろうという意識が強かったように思います。市の大会の成功は、県大会へとつながり、県大会の成功は、来年度の総体にもつながっていきます。今の行動が、未来を守ることにつながっていきます。



12月を迎えると、合唱交流会・ブロック解散会、生徒会選挙が行われます。今年度のまとめを行うと共に、来年度の準備が本格的に始まります。日々寒くなっていきますが、先輩から受け継がれた本校の心あたたまる「想い」はつながっていきます。生徒のさらなる活躍を期待すると共に、精一杯支えていきたいと想っています。ご協力、よろしくお願ひします。

3年生 合格祈願

今年度の修学旅行の中止が決まってしばらくたった頃、3年生の担任の先生が校長室にやってきました。そして、「東輝祭が終わったら、学年で合格祈願に行ってもいいですか。」と申し出がありました。

本当であれば、京都で合格祈願をしていたのだと思います。3年生の生徒が楽しみにしていた修学旅行。せめて、受験期に向かう心づくりとして、全員の合格を目指して、合格祈願をしたいという「想い」からでした。歩いて行ける範囲ということもあり、担任の先生が学区の甲斐奈神社と連絡をとると、参拝することをころよく承諾していただきました。

10月20日(火)、先生方の引率のもと、学級ごと時差をつけて出発しました。持ち物は、おみくじを引く100円とお賽銭の5円、そして甲斐奈神社からのご厚意で一人ひとりが頂いた来年度の干支が描かれた絵馬です。この日を祝福するかのようないい天気の中、プチ修学旅行は進み、神社に着くと学級ごと境内に上がり、神主の方に合格を願って励ましのお言葉をいただきました。生徒全員の名前を呼んでいただくだけではなく、合格鉛筆まで頂き、生徒は皆うれしそうでした。

神妙にお祈りをしたり、おみくじの言葉を戒めにしようとする姿に受験への決意を感じました。初めて修学旅行に行くはずだった担任の先生も含めて、先生方も区切りがついたような気がします。たとえ遠くに行かなくても、大切なのは共に3年間を過ごしてきた仲間と取り組むことであり、身近な場所に出かけることによって、地域の方の「想い」にもふれることができました。ここから、また新しい学びが生まれます。神社からの帰路、ごみ拾いまでしてくれる、心ある3年生の健闘を期待しています。



教育実習



6月に行う予定だった教育実習を、9月28日(月)より行うことができました。本校の卒業生4名が、2週間から3週間の実習に熱心に取り組んでくれました。今年度は人とのふれあう機会も少なく、生徒にとっても貴重な時間となりました。

実習生の中学生の頃を懐かしく思い出し、母校に帰ってきてくれて、成長した姿を見せてくれたことをうれしく思いました。全員が教師を志してくれています。再び、東中に来てくれることを楽しみにしています。